

## 公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

### ア 図書を選定

1. 学校図書館向き図書を選定……………【選定部】…(1)  
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。2019年度は2019/4/8, 4/22, 5/13, 5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 8/26, 9/9, 9/24, 10/15, 10/28, 11/11, 11/25, 12/9 2020/1/14, 1/27, 2/10, 2/25, 3/9, 3/23(22回)行った。結果は機関紙『学校図書館速報版』で発表した。

### イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)  
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第65回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施した。この調査は、全国から抽出した小学生3,461名(38校)・中学生2,570名(28校)・高校生3,479名(32校)の9,510人を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』11月号(829号)で公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)  
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2019年度学校図書館調査」を実施した。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出した1,150校を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』12月号(830号)で公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)  
学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、平成31年度の学校図書館図書の整備費約220億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施した。調査時期は2019年5月、996教育委員会(回収率57.2%)から回答を得たものを機関誌『学校図書館』2020年4月号(834号)で公表した。
4. 特別支援学校における学校図書館の現状に関する調査の実施……………【調査部】…(2)  
特別支援学校の学校図書館の在り方や改善の方策、要望に応える支援などの研究を進める基礎資料とするため、特別支援学校の学校図書館の現状について経年調査を実施した。この調査は全国すべての特別支援学校1,038校に依頼し、10～11月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』2020年6月号(836号)で公表した。

### ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)  
機関誌『学校図書館』(月刊)および『学校図書館速報版』(月2回)を定期的に刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に、『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

### エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)  
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第65回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。全国の小・中・高等学校や海外の日本人学校の25,579校から3,975,894編の応募があった。2020年2月7日に経団連会館で表彰式を行った。

#### ①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」

全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、

「第 66 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18 点を選定した。

2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)  
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第 31 回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施した。5,832 校 665,068 点の応募があった。2020 年 2 月 28 日に如水会館で表彰式を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。
  - ①「読書感想画中央コンクール 指定図書」  
全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 31 回読書感想画中央コンクール 指定図書」13 点を選定した。

## オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に、優れた絵本を顕彰している。25 回の節目にあたり、対象期間の変更、読者賞のリニューアルを図り、顕彰時期の変更を行った。
  - ①「えほん 50」「日本絵本賞最終候補絵本」の選定  
全国 S L A 絵本委員会は、新刊を対象とした絵本選書のための情報源として「えほん 50」を企画し、50 点を選定して公表した。並びに「日本絵本賞最終候補絵本」を選定した。
  - ②「絵本週間」の実施  
優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を実施した。
2. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)  
全国 S L A が委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第 52 回夏休みの本(緑陰図書)」40 点を選定した。機関紙『学校図書館速報版』(6 月 15 日号)で公表した。

## カ S L B A の図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(S L B A)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)  
全国 S L A が委嘱する選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「S L B A」という)」の委嘱を受けて「S L B A 選定図書」を選定した。

## キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
学校図書館に関する運動、論文、実践の 3 分野での優れた実績を顕彰する「第 49 回学校図書館賞」は、運動の部で一般社団法人日本子どもの本研究会、論文の部で渡邊重夫氏、実践の部で新潟県教育委員会に授賞した。2019 年 6 月 6 日に中野サンプラザで表彰式を行った。引き続き「第 50 回学校図書館賞」を募集した。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第 21 回学校図書館出版賞」は、株式会社ポプラ社、株式会社ほるぷ出版、株式会社ゆまに書房が選ばれた。2019 年 6 月 6 日に中野サンプラザで表彰式を行った。

## 公 2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

### 《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究部】…(1)  
司書教諭や学校司書等を対象に「学校図書館実践講座」を毎月 1 回、全部で 11 回開催した。  
なお、8 月 29、30 日に指導主事を対象にした研修会を開催した。

2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【研究部】…(2)  
図書館総合展のフォーラムにおいて、11月13日、榎本竜二氏を講師に、「ICT時代の学校図書館：「主体的・対話的で深い学び」をどう創るか」の演題でセミナーを開催した。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【研究部】…(2)  
学校司書の資質の向上を図るための研修制度のあり方に関する研究成果をもとに、学校司書研修講座を14回開催した。
- ☆4. 「地区学校図書館研究大会」の開催……………【研究部】…(2)  
隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の9地区で開催した。

第43回北海道学校図書館研究大会	10月4日・10月5日	北海道旭川市
第39回東北地区学校図書館研究大会	11月7日・11月8日	山形県酒田市
第35回関東地区学校図書館研究大会	8月8日・8月9日	千葉県習志野市
第30回北信越地区学校図書館研究大会	9月26日・9月27日	新潟県新潟市
第39回東海地区学校図書館研究大会	8月8日・8月9日	三重県津市
第46回近畿学校図書館研究大会	8月8日・8月9日	奈良県奈良市
第31回中国地区学校図書館研究大会	11月7日・11月8日	山口県山口市
第29回四国地区学校図書館研究大会	10月31日・11月1日	香川県観音寺市・三豊市
第39回九州地区学校図書館研究大会	7月30日・7月31日	長崎県諫早市

## 《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)  
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行した。
2. 各県S L Aのウェブサイト作成……………【プロジェクト】…(3)  
県S L Aの情報提供、研究会・研修会の募集、県S L A組織内の連絡等の利用に供するために、全国S L Aのウェブサイト上に各県S L Aのウェブサイトを開設した。
3. 『各県交換情報のウェブ版』の作成と活用……………【プロジェクト】…(3)  
各県S L Aの情報の交換を容易にする目的で、各県交換情報のウェブ版を作成する予定だったが、情報の提供もなかったため中止した。
4. 各県S L A・各地区S L Aへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)  
組織訪問を通して、各組織の現状を把握し改善のための支援策を講じた。
5. 各県S L A作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)  
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
6. メールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)  
各県S L Aおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
7. 研究成果の刊行普及啓発……………【プロジェクト】…(4)  
学校司書の仕事内容などを簡潔にまとめて、その役割や配置促進と活性化を促すための啓発書『「学校司書の役割」配置促進と活性化』（仮題）を刊行する予定であったが、刊行を取りやめた。
8. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
  - ① 『心に届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』（仮題）の刊行  
アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本の刊行を予定していたが、刊行に至らなかった。
  - ② 『総合的な学習の指導法』の刊行  
総合的な学習の指導法に関する新たなカリキュラムに対応した単行本として刊行する予定であったが、刊行を取りやめた。
  - ③ 『司書教諭講習テキスト』の刊行  
司書教諭講習テキストを全面改訂し、全5巻のうち第1巻『学校経営と学校図書館』、第2巻『学校図書館メディアの構成』、第4巻『読書と豊かな人間性』を刊行した。残る第3巻『学習指導と学校図書館』、第5巻『情報メディアの活用』は2020年度中に刊行する。

- ④ 『中・高校生向け読書案内』（仮題）の刊行  
機関誌に連載している「青春の本棚」を基に2020年刊行に向けた打合せを行い、タイトルを『青春の本棚』に改題した。
- ⑤ 『学校図書館活用術』（仮題）の刊行  
機関誌で連載したものを加筆して刊行する予定であったが、本会での刊行を断念し、悠光堂からの刊行に変更した。

### 《3. 学校図書館の充実発展》

- 1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)  
学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館スーパーバイザーや各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。
- 2. 各県SLA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)  
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整及び情報交換を図るため各県SLA事務局長会議を2020年2月6日（木）に開催した。
- 3. 全国SLA研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)  
全国SLAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国SLA研究協力員制度」について検討し、各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱する予定であったが、委嘱に至らなかった。
- 4. 各県SLAへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)  
各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行った。
- 5. 全国学校図書館協議会創立70周年記念功労者の表彰  
創立70周年を記念し、各県SLAに功労者の推薦を依頼し、功労者を決定した。記念式典を3月11日に出版クラブで開催し、代表者1名を招待して表彰を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期した。

### 《4. 研究視察》

- 1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)  
本年度は実施しなかった。

### 《5. 事業の活性化》

- 1. 全国SLA学校図書館スーパーバイザー制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)  
各地域や各校の学校図書館の活性化を図るため、全国SLA学校図書館スーパーバイザー制度を設けている。一部任期満了のため、引き続いての委嘱を行った。
- 2. 公益社団法人の財政基盤の健全化……………【プロジェクト】…(6)  
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めた。
- 3. 学校図書館講演会の開催……………【プロジェクト】…(6)  
今年度は70周年記念式典にあわせて学校図書館講演会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。
- 4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)  
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の進行に努めた。